

一般質問 町政を問う!!



おくもと てるや 議員

ラッキョウ耕作

振興対策は十分であったか
維持、発展に向け推進して行く

問 産業振興の側面だけでなく、地域の歴史や人権の視点からラッキョウ

耕作をどうとらえているか。

答 宮川教育長

教育委員会として地域産業の一つとして捉えるのではなく地域の歴史や人々の歩み、そして人権について学ぶことのできる大切な営みであると思う。かつて言われのない差別や社会的な制裁の中で暮らしてきた人々が、限られた条件の下にあっても、工夫と努力を重ねながら生活を維持したり地域の発展に繋げてきた経緯がある。ラッキョウ耕作を通して地域の産業を学ぶだけでなく、背景にある歴史や人権の視点から地域に根差した教育の充実に努める。

問 農業として、今迄の振興対策は十分であったか。

答 斉藤 農業振興課長

令和3年度、4年度に選別機、洗浄機等の支援

を17名に補助している。予冷庫も整備し種子の保管を高温障害への対応として進めて来た。

現在の生産者数、生産額等を考えると、これまでに以上に振興に力をいれて行く必要がある。近いうちに耕作者へのヒアリングを実施し、今後の施策の検討に活かしていく。ラッキョウ産地の維持発展に向けた施策を推進していく。

問 小規模農業者でも活用できる補助制度はないか。

答 斉藤 農業振興課長

露地作物においては、機械への共同利用ではなく、個人の農家への支援策というのは行っていない。こういう支援が希望か、機械の支援ということも当然あると思う。まずニーズを聞かせて頂き町として何を優先的に行っていくか検討していく。

問 後継者育成は急務だと思いが、これからの対応策は。

答 斉藤 農業振興課長

就農準備資金として、研修手当の支給。就農支援事業として、研修受入れ農家に対して研修受入れのための費用の支援。経営開始資金として就農初期経営確立のための資金支援。経営発展支援事業として、機械、施設導入等の初期投資支援などがある。

就農希望者がいる場合本人の希望や経験、技術の習得の段階に応じた事業の展開を進めて行く。



収穫されたラッキョウ



一つ一つ手作業で切っていく



サイズの選別作業